

令和8年度 府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p><b>【スクール・ミッション】</b> 文武両道を重んじる普通科を設置する学舎制高校として、スポーツ活動を充実させることにより、課題発見能力と確かな学力を身に付け、仲間と共に支え合い未来を切り拓く力を備えた人材を育成する。</p> <p><b>【教育理念】</b> 真理と正義を希求し、豊かな人間性を備え、幸せな人生と社会を創造する人間を育成する。</p> <p><b>【教育目的】</b> 我が国や地域社会の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志」を持つ人間の育成</p> <p><b>【スクール・ポリシー（三つの方針）】</b></p> <p><b>1 育成を目指す資質能力に関する方針</b> ～社会的使命感と青雲の志～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広く深い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う。</li> <li>・自主自律の精神を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に貢献する。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐとともに、国際社会の平和と発展に寄与する。</li> </ul> <p><b>2 教育課程の編成及び実施に関する方針</b> ～平日6時間授業(週30時間)+ 放課後活用 = 一人一人の可能性を伸ばす～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな基礎学力に基づいた課題発見・解決力を身に付け、主体的に未来を切り拓くことのできる能力を養う。</li> <li>・他者との対話や議論を通じて、互いに多様性を認め合い、協働していくことができる態度を養う。</li> <li>・学校と地域社会との「学社協働」を通して、持続可能な地域社会の在り方を探究することで、自身と社会のwell-being(幸福)につなげる姿勢を育てる。</li> <li>・特にアスリートスポーツコースでは、専門競技を探究するとともに、マルチスポーツ体験及び小・中学校や支援学校との交流を通して、周囲への感謝を忘れず謙虚さを併せ持つ態度を養う。</li> </ul> <p><b>3 入学者の受入れに関する方針</b> ～学習×部活動×地域社会 = 幸せ織りなす人生～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、探究活動や部活動等を通して、仲間と協働しながら充実した高校生活を送り、豊かな人間性・社会性を身に付けたい生徒</li> <li>・知的好奇心を持って地域社会で学び得た知識や技能を、将来にわたって社会の持続発展や自らの幸せにつなげようとする生徒</li> <li>・仲間と協力しながら自らの専門競技や文化部活動等に打ち込むとともに、謙虚な心や豊かな感性を身に付け、チームに貢献し続ける生徒</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用した授業を実施し、公開授業等を通じてノウハウを共有することができた。</li> <li>○d-ルームを整備し、ハイスペックPCやネットワークを活用して、宮津学舎との遠隔授業を行うことができた。</li> <li>○探究活動の発表や芸術祭などを学舎合同で実施することで、一体感のある学校の構築を進めることができた。</li> <li>○生徒の主体性を生かした教員の伴走と地域の社会人の協力によって生徒の好奇心に火をつけることができた。</li> <li>○担任面談や学年部長面談などを通じて、生徒の主体的な進路選択を支援することができた。</li> <li>○生徒とともに課題に向き合い、あるべき姿を考えさせる指導を、組織的に行うことができた。</li> <li>○幅広い分野の人権教育を行うことができた。</li> <li>○教育相談会議などで生徒の情報を共有し、組織的な連携をとることができた。</li> <li>○外部機関や大学関係者等との連携によって、幅広く探究活動を進めることができた。</li> <li>○広報活動を充実させ、特にInstagramを活用した情報発信を効果的に行うことができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「統一と個性」をキーワードに、全体に共通する目線合わせとともに、個性を伸ばす指導を充実させる。</li> <li>●宮津天橋高校は「力が伸びる学校」としての存在感を出す。</li> <li>●医療や警察や行政などの専門家と連携し、生徒をつなぐことが今後も重要であるとともに、卒業後の社会とのつながりも作っていく。</li> <li>●AIの時代において、人と人のつながりがより重視されるため、人を通して学ぶことを大切にする。</li> <li>●タブレットを目的外使用する生徒への指導が必要である。</li> <li>●DX人材の具体的な育成。</li> <li>●生徒へのより良い支援を実現するため、教職員が主体的に関わり、共通理解のもとで指導にあたること。</li> <li>●小・中学校との連携を一層進め、高校での学びを見据えた授業づくりができるよう、指導者間の情報共有と協働。</li> </ul>	<p><b>1</b> 一人ひとりにきめ細かな指導を展開し、基礎学力及び発展的な学力を身に付ける。探究的な学習を通して、他者と協働しながら、主体的に学ぶ姿勢を育成するとともに、自らの希望進路を切り拓くために確かな学力を養成する。</p> <p><b>2</b> 平日6時間授業のメリハリのある教育を展開し、学習との両立を図りながら放課後の時間を有効活用する。その上でアスリートスポーツコースを核とするスポーツ活動や運動部・文化部の部活動の一層の発展を図る。</p> <p><b>3</b> 地域探究・地域貢献活動やボランティア活動を積極的に行うとともに、スポーツ交流など小・中学校、地域社会と連携した取組を推進していく。その上で生徒の自己有用感を高めるとともに、地域社会に貢献し信頼される学校づくりを目指す。</p> <p><b>4</b> 学舎制の特色を活かした遠隔教育システムによる授業や学校行事・部活動での連携とともに、アスリートスポーツコースの一層の活性化を図っていく。その上で入学した生徒が広い視野を持ちながら大きく成長でき、学校と地域社会が共に発展する魅力的な教育活動を行う。</p> <p><b>5</b> 本学舎の特色ある取組や魅力をホームページ、Instagram、ニュースレター、学校公開など、あらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p><b>6</b> 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を踏まえ、ステージに応じた資質能力の向上を図る。また、学校DXの推進やICT活用、観点別評価の研修を深め、授業改善を推進する。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価		成果と課題
組織・運営	○学舎の特色化と積極的な情報発信により入学希望者の増加に繋げる。	○本学舎の魅力を積極的に発信し、各種説明会の実施やアスリートスポーツコースの一層の活性化、部活動での勧誘を通して志願者確保を進める。			
	○学舎間連携を積極的に実施するとともに学校体制の充実を図る。	○学校行事や部活動、遠隔授業、探究活動等の合同での学習を積極的に行い、両学舎の生徒・教員の交流を推進し、相互理解と多様性を認め合える豊かで寛容な心を養う。			
学習指導 ・ 進路指導	○一人一人に寄り添うきめ細かな指導により学力の向上を図る。	○放課後活用等を利用し基礎学力の充実を図り、探究活動や各種ガイダンスを通して進路に対する理解を深める。 ○面談をはじめとする一人一人に寄り添った指導を行い、希望進路実現に向けて組織的に支援を行う。			
	○地域等での探究活動等を通して、希望進路の実現に必要な主体的に学び考える力を養成する。	○タブレット端末の活用や観点別評価の実施、地域等での探究活動の推進により、確かな基礎学力に基づいた課題発見・解決力を身に付け、主体的に未来を切り拓くことのできる能力を養う。			
生徒指導 ・ 特別活動	○規範意識の一層の向上を図るとともに、諸活動の充実により主体的・協同的に活動する生徒を育成する。	○遅刻の防止、制服の着こなし、頭髪や身だしなみをはじめマナーを守る重要性和集団の一員であることを理解させ、発達支持的生徒指導（未然防止）に務める。			
		○日々の部活動や定期ボランティア、また、学校祭や支援学校との交流会等への積極的参加を促すことで、自他を大切にす気持ちや、仲間と協力しながら自己の役割を果たすことのできる生徒を育む。			
健康安全 ・ 教育相談	○健やかな心身を育成し、充実した教育活動を行う。	○自己の心身の状態に気づき、生活習慣やストレスへの対処法、自主自律に向けた健康行動がとれるようにする。			
	○生命尊重の心を育成し他者と共生する力を培う。	○多様性を認め、自他の生命や人権を尊重する心を育み、安全に教育活動を進められるようにする。生徒個人が抱える様々な課題に対して適切な行動をとれる力を身に付けさせる。			
家庭・地域・ 社会連携	○家庭・地域社会との連携をより強固なものとし、教育活動の充実を図るとともに学舎の特色化を推進する。	○与謝野町高校魅力化コーディネーターとの強力な連携により、生徒が地域社会等と積極的に繋がり、探究活動や地域貢献の取組を推進する。			
		○PTA活動の充実を図り、保護者等面談や各種説明会等での情報提供を通じて、家庭・地域社会との連携を充実する。			